

■ 都市課題

中山間地域では、少子高齢化の影響により、交通インフラの縮小と交通弱者の増加が同時に発生。地域で日常生活を営むための移動手段が失われつつある。

■ 解決方策

自治的な組織等がデジタル技術を活用し、移動サービス「支えあい交通」を提供。住民の移動目的創出やサービスの利便性向上、マルチプロフィット化により収益性を高め、経済的に自立した持続可能なサービスとする。

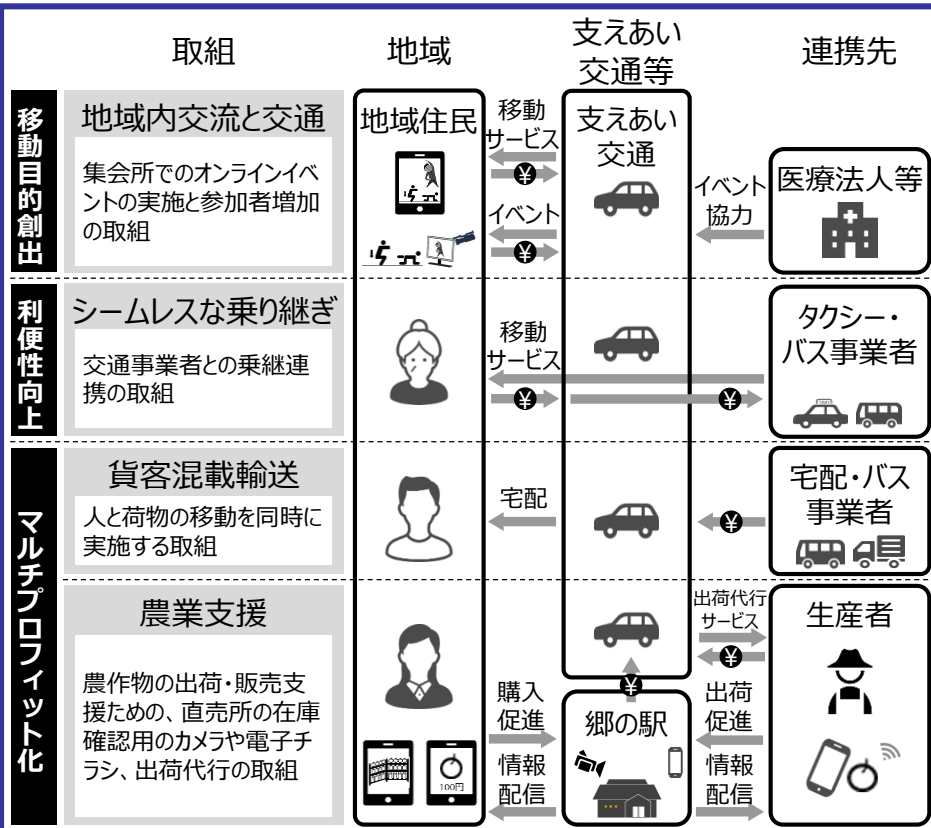
■ KPI

自治的な組織等の2025年時点での黒字化(様々な事業の収益や行政の補助等を含む)のため、2025年時点での年間売上300万円を目指す。

■ 実証実験の概要・目的

移動目的創出のための「地域内交流と交通」の取組、利便性向上のための「シームレスな乗り継ぎ」の取組、及びマルチプロフィット化のための「貨客混載輸送」と「農業支援」の取組による支えあい交通の売上増加及び運営に関する検証を実施する。

■ 実証実験の内容



■ 実証実験で得られた成果・知見

- 各取組の実行性と経済性が確認され、年間売上は108万円の増加となる検証結果となった。
(単位：万円/年)

想定売上	地域内交流と交通	シームレスな乗り継ぎ	貨客混載輸送	農業支援	計
	32	25	38	13	108

- 連携して取組を行った宅配事業者やタクシー事業者、バス事業者のメリット創出の確認ができた。

課題

- 貨客混載輸送などの既存の有力な取組の磨き上げによる売上増加。
- リーダーやサポーターとなる担い手の確保と育成。
- 自治体と連携した解決策の模索。

■ 今後の予定

自治的な組織等の黒字化(公的支援等を含む)に向け、自治体連携、売上増加、費用低減の検討等に取組み、効果を検証する。

